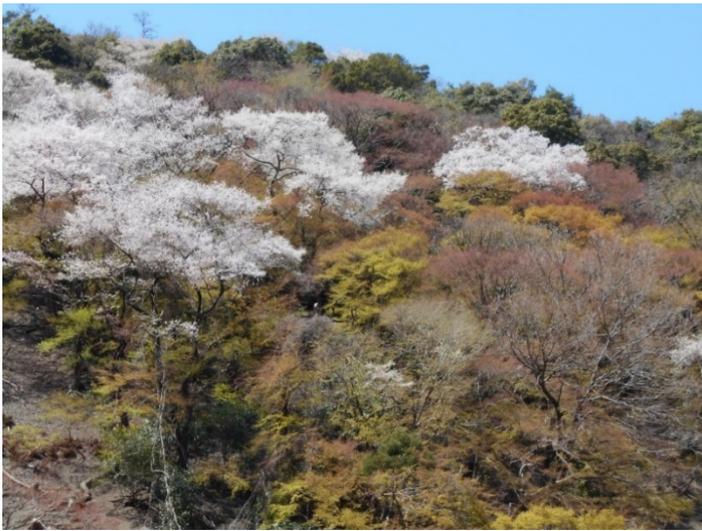


## 箕面大滝の北 大日駐車場前の崩れた斜面を 自然の森に戻そう！



昨年、台風の影響でスギ・ヒノキの人工林の多くが倒れました。放置すると土砂が流出して、下流域に大きな影響を与える恐れがあります。

シカによる食害を防ぐネットを設置し、苗木の購入と植樹を行います。健全な自然の森が復活するよう、「協働」の取り組みを行います。

土砂の流出・崩壊の防止、水源かん養、生物多様性の保全、観光やリクレーション機能など、健全な自然の森にはいろいろな働きがあります。自然の森に戻す活動にご支援をお願いします。

### 箕面の自然林では、たくさんの野鳥を観察することができます。

夏でも涼しい箕面の森をゆっくり歩きながら、耳を澄ませると、川のせせらぎに野鳥や虫たちの鳴く声が聞こえてきます。豊かな箕面の森には、たくさんの生き物が生息しています。



オオルリ



キビタキ



サンコウチョウ



センダイムシクイ



シジュウカラ



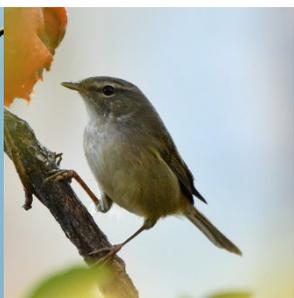
ヤマガラ



ホオジロ



メジロ



ウグイス



エナガ

## 放置しても自然には植生が回復しない現実～増えすぎたシカによる食害の影響～



大日駐車場西北の斜面／数年前の被害地

### 数年前に崩れた斜面の裸地化

左の写真(昨年9月の被害地の下流)は、過去に治山工事が行われ、自然に植生が回復するのを期待されたところですが、数年経過しても、ほとんど草木は確認できず、土がむき出しになっており、さらさらと土が崩れそうな状態になっています。

### 増えすぎたシカによる食害の影響

当初に設置したシカ防護柵が壊れて、そのまま放置されていた結果、シカの侵入を許してしまい、せっかく、まわりの樹木から種子が散布されて萌芽した草木も、シカに食べられてしまっています。

### 昨年9月の台風による被害地の対策について

下流域の状況から、不十分な対策では、自然には植生が復活しないことが明らかになりました。

被害地は面積も広く、明治の森箕面国定公園の玄関のような場所ですので、自然災害に弱い人工林ではなく、健全な自然の森に戻すことが求められています。

### 森林が持つ公益的な機能

健全な森林には、土砂の流出・崩壊の防止や水源涵養機能の他にも、さまざまな機能があります。観光資源の保全のためにも、きちんとした対策を実施することが必要となっています。



増えすぎているニホンジカ

## 市民が進める災害に強い森づくりの活動～立場の違う主体の「協働」の取り組み～



大日駐車場北の斜面／昨年9月の被害地

行政だけでなく、市民が一定の役割を分担して、立場の違う主体が情報の共有化や意見交換を行う「協働」の取り組み

### 行政(林野庁)による治山などの施策

本年度末までに、できる限り、山腹工などの治山の取り組みとシカ防護柵の設置を行ってもらう予定です。

### 市民が中心に進める災害に強い森づくり

シカ害防護柵の設置完了後、下流・上流域の植生を参考にして、被害地に適した樹木の選定を行い、できる限り、地域性に配慮した苗木を調達して、植樹を行う予定です。

(主な課題)

### 地域性に配慮し、土壌を安定させる樹種の調達

苗木を育てるには、数年かかります。兵庫県や京都府から苗木を購入して植樹することも必要です。苗木を購入するためには財源(寄付)が必要です。現地は、崩れやすい土壌であり、土壌を安定させる樹種を選定することも必要となっています。

### モニタリング調査と適応的な管理

森を育てるためには、長期にわたる持続的な活動が必要であり、不確実性が高い活動です。適時、振り返りながら、対応を検討する予定です。



目標とする自然林のイメージ(被害地の尾根筋)

斜面上部や周辺に見られる母樹から種子が散布されることによる自然植生の復活も期待されます。

## 市民が進める箕面の森の安心・安全の活動～森の道標の設置・緊急ポイントの増設～



箕面の森の道標

従来の「箕面の森の案内板」(地図付き)に加えて、新規に「箕面の森の道標」(矢印付き)を設置して、事故や災害時の緊急対応に役立つような基盤の整備を行います。

### 箕面の山の緊急ポイントを145ヶ所に拡大

ハイキング道の分岐点に全て設置することにより、より分かりやすい緊急ポイント表示とします。※2019年度中に完了予定  
現在の58ヶ所を計145ヶ所に拡大します。(87ヶ所増設)

### 箕面市消防本部と連携

緊急ポイントの位置情報を消防本部と共有化し、スムーズな緊急対応ができるようにします。



### データベースの活用

緊急ポイントのGPS位置情報を収集します。

将来的には、ホームページ上で、地形図にハイキングルートと緊急ポイントを表示し、タイムリーに情報発信や閲覧ができるようにします。



箕面の山の緊急ポイント

## 山火事防止のご協力をお願いします！～「こもれびの森」で山火事が発生～



「こもれびの森」の山火事



山火事注意の看板

5月25日、「こもれびの森」(緊急ポイントB11の西)で山火事(約3,000㎡)があり、6月2日には、谷山谷の河原でも、たき火が発見されました。山間・山麓部では、たき火(直火)やたばこの投げ捨ては厳禁です。かけがえのない森を守るために、山火事防止にご協力をお願いします。

## 山林整備サポーター養成講座を受講して、山で楽しく、活躍しましょう！



作業がしやすい冬の間、近くの山林で、所有者に代わって、倒木の処理や山の手入れの作業を行っていただく山林整備サポーターを募集しています！

NPO山麓委員会は、山林所有者が高齢だったり、遠隔地に住んでいるなどの理由で、山の手入れが出来ない場合に、所有者からの要請を受けて、山林整備ボランティアを派遣しています。

年々、派遣要請が増えており、要請に応えるための山林整備サポーターの増員が必要となっています。養成講座を受講していただき、ベテランのサポーターといっしょに、楽しく、山林整備を行っていただきます。

### 《山林整備サポーター(ボランティア派遣)養成講座》

☆2019年10月26日(土)午前10時～午後3時ごろ

☆集合場所 箕面市粟生外院5丁目「皿池公園」

☆午前…基本的な技術や安全知識を学ぶ講義

午後…近くの民有林で、倒木処理や間伐を体験

参加費は無料ですが、事前申込(先着20名)が必要です。

※NPO山麓委員会にお気軽にお問い合わせをお願いします。



# 箕面大滝の北 大日駐車場前の崩れた斜面を 自然の森に戻そう！

災害に強い森づくり、未来につなぐ森づくりのための「箕面の山 災害復興募金」にご協力をお願いします！

土留め工等の治山設備や本格的な防鹿柵の設置などは行政の役割ですが、行政だけでなく、市民が一定の役割分担をして、情報の共有化と意見交換を行う「協働」の取り組みが必要です。

市民の役割として、地域性に配慮し、土壌を安定させる樹種を調達して、植樹を行います。森を育てる活動には財源が必要です。広葉樹を中心に植樹して、自然の森に戻す活動をご支援をお願いします。



※3,000円以上募金していただいた方に「箕面の自然と生き物」のDVDを進呈させていただきます！

## みのお山麓保全ファンドによる活動助成 8月期の募集

公益信託「みのお山麓保全ファンド」は、四季折々に美しい箕面のみどり豊かな山麓を守り・育て・活かすために、山林所有者や市民の活動を資金面から応援(助成)する仕組みです。

NPO山麓委員会は、中間支援組織として、市民や山林所有者の活動支援や「みのお山麓保全ファンド」の助成を活用した活動の相談、助成申請の受付などを行っています。お気軽に事務局までご相談ください。

- 申請受付期間: 8月1日(木)~31日(金) ■対象となる事業期間: 2019年4月1日~2020年3月31日
- 助成金額: 1件あたり25万円以内(一般助成)
- 助成の流れ: 受付(8/1~31)⇒運営委員会助成決定(9月下旬ごろ)⇒助成(10月下旬ごろ)

### みのお山麓保全ファンド 2019年度2月期助成(実績)

- 山林所有者(自然緑地等指定同意書提出者)による活動を助成  
件数: 66件、筆数: 171筆、面積: 338.534㎡、金額: 6,515,000円を助成  
\*山林整備サポート(ボランティアによる山の手入れ)要請件数: 41件(新規は2件)



- 市民団体等による活動を助成  
15件、2,088,200円の申請に対して、全数の助成を決定 ※新規助成は1件

活動団体名	保全活動名	助成金額
1.箕面の山パトロール隊	清掃ハイキング、大掃除大作戦、子どもハイキング、自然情報発信など	¥250,000
2.箕面だんだんクラブ	森林の整備、間伐材の有効利用(竹炭作り・募金返礼品作り)など	¥250,000
3.しおんじ山の会	風倒木処理や薪作り、植樹・防鹿ネット設置、里山のふれあい作りなど	¥190,000
4.杜の会	外院・石丸の民有林の整備(除・間伐、倒木整理、倒木整理など)	¥43,500
5.とんど山桜園の会	伝統的な里山文化(めんぎょ)の花見の開催、里山桜園の維持管理	¥91,000
6.かやの中央まち育て交流会	たいまつ準備、伝統行事(まんどろ火祭り)の開催	¥250,000
7.外院の杜クラブ	小学生のシタケの植菌、ホダ木の観察、クヌギの苗の育成	¥12,000
8.みのお竹林クラブ	土壌改良によるタケノコの味覚向上、間伐材を活用したキノコ育成	¥60,000
9.箕面の森の音楽会実行委員会	瀧安寺前広場での音楽会、山麓保全活動のPR・広報や募金活動	¥180,700
10.みのおエコクラブ	親子のふれあい体験学習広場の運営、農作物の育成や観察など	¥250,000
11.みのお森のふれあい広場運営委員会	滝道「森のふれあい広場」での自然情報などの発信、イベント実施	¥110,000
12.里山散策路をつくろう会	里山散策路4コースのハイキング地図作り、カラー地図の配布など	¥19,000
13.箕面生物多様性会議	オヶ原池の生き物調査、特定外来生物の駆除、報告会の実施など	¥112,800
14.高田 博光	明治の森箕面国定公園の四季や植物、生き物などの写真展の実施	¥185,000
15.箕面の森のきこり隊	民有林での里山管理、山林整備人材の育成、整備ボランティア派遣	¥109,000

■NPO山麓委員会は、5月26日に第18回定期総会を開き、2018年度事業報告・決算報告、2019年度事業計画・活動予算及び下記の役員選任案が承認されました。

理事: 角山年昭、中瀬重幸、成瀬英夫、村上竜太、鹿島幸子、近藤万里、松木亮、中川弘佳、永浜久美恵、西野俊治(以上、再任)、監事: 山内一浩(再任) ※理事の鈴木真紀さんが退任。

総会終了後の理事会で代表、副代表が互選されました。代表理事: 角山年昭(再任)、副代表理事: 成瀬英夫、村上竜太、近藤万里(以上、再任)、事務局長: 高島文明(再任)

NPO法人 みのお山麓保全委員会  
〒562-0001 箕面市箕面6-3-1 みのおサンプルザ1号館2階211号室  
電話&FAX: 072-724-3615 携帯電話: 090-1133-3615  
メール: yama-nami@yama-nami.net  
ホームページ: www.yama-nami.net(検索: 山なみネット)  
\*箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

